

## 令和6年度（2024年度） 家庭科 年間指導計画【第3学年】

評価 方法	ア 定期考査 エ 宿題 キ 発言・発表	イ 作品 オ 授業ノート ク 授業観察	ウ 提出物（問題集・ワーク・課題プリント等） カ ワークシート・振り返りシート（ポートフォリオ） ケ 製作カード
----------	---------------------------	---------------------------	--

教科横断的視点：他教科関連（教科名） 内容

月	章	時数	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	家族・家庭生活	4	○幼児の生活と家族 ・幼いころと今の自分の <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">道：家族愛</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">家庭生活の充実</span>	幼児頃を振り返り、周囲の人との関わり大切さについて理解している。（カキ）	幼児の成長は周囲の人との関わりや支えのなかでは育まれたことを自分の成長を振り返ることから理解し、幼児と幼児の学習に対して関心をもって幼児の心身の発達に応じたおもちゃや遊び方について考え、工夫している。（カキ）	幼児の成長は周囲の人との関わりや支えのなかで育まれたことを自分の成長を振り返ることから理解し、幼児と幼児の学習に対して関心を持ち取り組もうとしている。（オ）
			・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">体：心身の機能と心</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">理：生物の成長と生殖</span>	幼児の体の発育について、発達の方向性や順序性とともに、個人差があることを理解している。（アカ） 幼児の情緒、社会性、言葉の発達の特徴について理解している。（アカ）	幼児との遊びを通して幼児の心身の発達に応じた関わり方を工夫しようとしている（カ）	幼児の心身の発達の特徴と生活について理解し、幼児とのかかわり方を考え、取り組もうとしている。（カ）
6	衣食住の生活	2	○日常食と調理 <調理実習> 2年生分野 肉・魚・野菜の調理をしよう	肉・魚・野菜の調理上の性質や調理上の性質や調理方法について理解している。（アカ） 肉・魚・野菜の調理上の性質を生かし、手順や時間を考えて計画することができる。（カ） 安全と衛生に留意しながら調理が適切にできる。（ク）	肉・魚・野菜の種類や部位に適した調理方法（ゆでる、焼く、煮る、炒める、蒸す）を考え工夫している。（アカ）	肉・魚・野菜の調理に関心を持ち、調理技術を習得しようとしている。衛生や安全に配慮しながら、仲間と協働して調理に取り組もうとする。（ク）

月	章	時数	学習内容	評価規準			
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
7	家族・家庭生活	2	○幼児の生活と家族 ・発達にとってのおとなの役割 ・遊びが必要なわけ ・遊びを支える環境	幼児の生活習慣の形成の重要性と、それを支える家族の役割、基本的な信頼関係を築くことの大切さを理解している。(アオ) 能力を育てるおもちゃについて理解している。安心安全なおもちゃに関わる基準や法令を理解している。(アオ) 幼児の遊びを豊かにする遊び道具と、遊ぶ場所の環境が安全であることが大事だと理解している。(アオ) 幼児は発達段階により、個人差により対応が異なることを理解している。(アオ)	基本的な生活習慣や社会的な生活習慣獲得の意義を説明できる。(アカキ) 遊びの意味を理解できる。 自分の実践的・体験的な活動を通して幼児にとっての遊びの意義を理解できる。(アキ) 遊びの安全・安心を考えることができる。 幼児の遊びを豊かにする遊び道具や遊ぶ環境について考え工夫している。(カキ)	子どもの発達を理解し、子どもが育つ環境としての、家族や周囲のおとなの役割について説明しようとしている。(カキ) 自分の経験から思い出し、積極的に考え発表しようとしている。 自分の経験を積極的に発表できる。(カキ)	
9		6.5	○幼児との関わり ・ふれ合い体験の前に ・ドキドキワクワクふれ合い体験(幼稚園訪問)	幼児と適切に関わるために必要な知識を理解しているとともに、適切にできる。(カク) 幼児の発達や生活の特徴に応じたかかわり方について理解している。(カ) 幼児に合った接し方や遊び方を工夫し、触れ合う方法を考えて観察できる。(アカ)	幼児とのかかわり方について問題を見出し課題を設定している。(カキ) 幼児の遊びの意義を踏まえ、よりよいかかわり方について考え、工夫している。(カキ)	幼児とのよりよいかかわり方を考え、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。(ク)	
10			・ふれ合い体験は幼児からの贈り物 ・子どもの成長と地域	幼児の遊びや発達の特徴、接し方などについて整理することができる。(カ) 幼児と交流した実践の成果と課題のついてまとめ、発表することができる。(カキ)	幼児の心身の発達に応じたかかわり方について観察したことを生かして自分なりに考え、工夫している。(カキ) 幼児とのかかわり方について問題を見出し課題を制定し、解決策を構想している。(カ)		
11			<実習> おもちゃを作ってみよう	幼児の生活に役立つものの製作に必要な基礎的知識を理解している。(アイ) 幼児のおもちゃを自分なりの工夫を加えた製作計画を立てることができる。(ケ)	幼児の心身の発達に応じたおもちゃや遊び方について考え、工夫している。(イケ)	幼児の発達段階に応じたおもちゃの製作を通して、幼児の遊びに関心をもち工夫し創造し、実践しようとしている。(イカク)	
12							

月	章	時数	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1		1	<p>○家庭生活と地域のかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活と地域での活動</li> <li>・多様な人々が暮らす地域</li> </ul> <p>道：社会参画、公共の精神</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に暮らす高齢者</li> <li>・高齢者とのかかわり</li> </ul>	<p>家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。(カキ)</p> <p>地域の多様な人々と協働する必要があることを理解している。(アオ)</p> <p>高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者とのかかわり方について理解している。(アオ)</p> <p>介護など高齢者とのかかわりかたについて理解している。(キク)</p>	<p>地域の人びととかかわり、協働する方法について問題を見い出している。(カキ)</p> <p>高齢者など地域の人々とかかわり、協働する方法について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想している。(カキ)</p>	<p>家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に組もうとしている。(カキ)</p> <p>地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、地域の生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。(カキ)</p> <p>地域とかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(キク)</p>
		2	<p>○幼児のためのおやつを作ろう</p>	<p>おやつは食事の一部であることを理解し、栄養のバランスを考えることができる。(アカ)</p>	<p>おやつの実習の中の課題を設定し、おやつ作りの計画を自分なりに工夫している。(カ)</p>	
3		1	<p>○持続可能な家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活とSDGs とのかかわり</li> </ul>	<p>SDGs について理解し、生活とかかわりを理解できる。(カ)</p>	<p>世界の子ども相対的貧困率を見て、現状の課題に気づき課題を設定している。(カ)</p> <p>現状を把握しどんなことが課題なのか気づき、課題設定し、課題解決しようとして考えや資料をまとめて表現できている。(カキ)</p>	<p>これからのよりよい社会をめざし、何ができるのか今までの学習を生かしながら、より良い世界をめざして自分の言葉で考えを述べようとしている。(キ)</p>